



みなと

みなと 23号 2007年12月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990
代表者：片山恵
編集者：赤木直美



平成19年度第17回交流会は、11月23日(金・祝)日本赤十字社兵庫県支部7階大会議室でリスナーと盲導犬3頭、支部の関係者と団員の約200人が参加して開催されました。

秋晴れのお天気にめぐまれ、皆さん笑顔・笑顔で一年ぶりの再会を喜び合いました。

12時から開会の挨拶ではじまり、支部の東田雅俊事務局長は「多数のリスナーの方々と、このように盛大な交流会が開催された事を心からお祝い申し上げます」と声の図書の今日までの歩みを話され最後に「ボランティア活動の原点はお互いの思いやりと支え合いによる心の交流にあると思う。今後も活動を継続していただく事を願います」と挨拶されました。

片山委員長も「年に一度皆さんとお会いできる事は嬉しい。デイジーに向けて勉強を始めた。今まで通りのテープも続けていく。次年度に向けて1枚のCDに8本のテープを入れてお送り出来ればと思っている。今日は楽しいイベントと季節のお弁当を味わってください」と挨拶。

リスナー代表の広利有理子さんは「西宮から来ました。テープを送ってください、交流会も何ヶ月も前から準備して下さってありがとうございます。主人が25年前青年グループで活動していました。主人が亡くなってからもずっとテープを聞いています。内容も旅行、趣味など温かみのある親しみやすいテープです。これからもずっと続けてください」と励ましの言葉を頂きました。

書記 赤木 直美
写真 飯塚 陽子

1時からのイベントは、菅原宏美さん司会による「バラエティショー2007」

*詩吟の塚本紅卿さんの「白帝城」そして「名槍日本号」は途中全員が「黒田節」を歌い、その後また塚本さんが朗々と吟じられました。

*声の発表は

- ・松井孝雄さん（こすもすG）は「白波五人男」を歌舞伎のせりふを朗読調にアレンジして、若々しい声で堂々と朗読されました。
- ・リスナーの森鈴子さんは「南十字星」の歌を、盲導犬レジーナを連れて豊かな声を聞かせてくださいました。
- ・「あかりの会」はNHKハート展より8つの詩を抜粋し8人がそれぞれ絵の説明を加え心温まる朗読でした。

*最後は柳井篤子さんの腹話術で、とても可愛い人形のかんちゃん、それは面白い軽妙な話術のかけあいで、会場は大いに盛り上がり、笑いが絶えませんでした。柳井さんが一人でしゃべっているのに、人形のかんちゃんが本当にしゃべっているのではないかと思う質問がありました。かんちゃん以外の4とおりの声もその場で出してくれた時にはみんな大喜びで大きな拍手が送られました。イベントの始まる前に柳井さんの持ってこられたぬいぐるみをリスナーの方々にさわってもらったりして楽しみました。

赤木直美

平成19年度第17回交流会を終えて

11月23日（金）快晴の交流会日和、団員の総力を発揮して準備整え、予定通り12時より交流会を開催しました。

出席リスナー63名、同行者37名、盲導犬3頭、団員85名、計185名の沢山な方々のご参加を得て、熱気溢れる集いになりました。

今年は、チャーターバスの利用者が多く、バス1台では少し無理かもと急遽チャーターバスを2台に増やす事が出来る幸運にも恵まれ、リスナーの方々の送迎も余裕を持って出来たのではないかと思います。プログラムの内容もバラエティに富んで楽しく、リスナーさんの皆さんとても楽しかった、又来年も参加したいとってくださりうれしく思いました。

各グループの団員の皆さん、それぞれの役割分担をきっちりと責任もって果たして下さい、とてもスムーズに交流会を終えることが出来、感謝の気持ちで一杯です。

交流会実行委員長 松本裕子

リスナーお二人に聞きました

大野紀子さん
神戸市中央区にお住まいで、会場の日赤まで、ガイドの人と歩いて来られました。毎年来ています。団員の方々忙しいのにいろいろと催しを考えてくれて感謝しています。毎年楽しみにしています。

山崎久光さん
神戸市須磨区にお住まいで、ガイドの人とJRとバスで来ました。毎年来ています。会場の雰囲気はとても良いです。

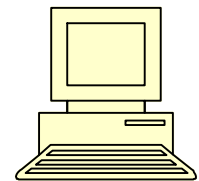
「テープ図書からデジタル図書へ」経過報告

声の図書奉仕団として長年の懸案だった図書のデジタル化が、具体化への第一歩を踏み出しつつあります。私達が目指しているのは、(財)日本障害者リハビリテーションセンター協会の委託によるプレクスター(株)のソフトウェア「MyStudioPC」を使つてのDAISY図書です。そして、まだ直接デジタル録音するのではなく、現在のテープ図書をオーディオキャプチャーを介してPCに取り込み、それを編集して作成します。

2月から3月にかけて3回のデイジー図書基礎講習を6名が受け、その後、私達団にとって相応しい編集方法の基本を考えました。7月以降は、全グループから参加して頂き、少しずつ実施に向け共に研修を重ねています。初めは、夫々のテープ図書を独自に編集しCD作成していましたが、現在は、月刊・季刊の全図書を一枚のCDに収める事を目指しています。CD一枚には40~45時間分の図書が収録できます。

今後は、希望リスナーのリサーチ、管理・運営方針やCDの体裁等々、まだまだ考え、決めていかなければならない事が沢山あります。PCに必ずしも詳しくない者ばかりで悪戦苦闘していますので、実動まで今しばらくお待ち下さい。

青年G 直田花子



私のデイジー図書体験記

デイジー(DAISY)図書のことは何も知らず、またパソコンに弱い私が、デイジー学習グループの中に入っていけるかどうか心配だったが、月2回の学習会でリーダーの方たちに親切に指導頂き、少しずつデイジーのことが分かるようになってきた。それにしても、声の図書でデイジーを立ち上げられた方々の熱意とチームワークは素晴らしい。独学に近い形で相互啓発し合いながら手製のマニュアルを作られたり、機器が足りないと個人のパソコン等の機器を提供されたり、頭の下がる思いである。

この方たちの熱意で引っ張って頂き、いつの間にか半年が経った。見よう見真似で、またいろんな方のご助力を頂いて、10月に「PHP10月号」のデイジー図書編集をし、CD化まで完成することができた。11月には、あかりの会の皆さんにデイジー図書の説明をする機会を与えて頂いた。「DIMaker」(幾つもの図書(CD)を、1枚のCDに纏めるソフト)の習得等まだまだ課題は多いが、引き続き頑張っていきたい。

視覚障害の方が、多くの情報の中から興味のあることを検索して聴く場合、バラバラのテープから検索するより、1枚のCD(圧縮ソフトで50時間分くらいが収納できる)の中から再生機(プレクストーク)のキー操作で検索して聴く方が便利なのは容易に分かることなので、今後デイジー図書化が進んでいくと思う。

最近、デイジー図書の学習に来られる方が増え、たいへん心強く思っているが、もっと多くの「声の図書」団員の方が、デイジー図書に馴染んで頂き、声の図書赤十字奉仕団6階のボランティア室から「デイジー図書」の輪が大きく広がっていくことを願っている。

あかりの会 青野義夫

花 時 計

8月号 (ともしびG)

- ・インタビュー：オカリナ演奏とお話
- ・朗読、あまんきみこ作：白い帽子
- ・「母の戦争体験記」
- ・すてきなあなたに「一銭五厘の旗」「カブト虫」
- ・私の体験
「ダンボール箱を使った生ゴミ堆肥づくり」

暑い暑い夏休みもせんと、感謝です。オカリナの音色大好きです。触ってみた事もなかったが、今回のお話でよく判ったので求めて自己流で心和ませたいものです。

島貫信子さんより

それぞれ楽しく聴きましたが、特に十三夜の朗読は舞台劇を聴いているような思いで聴かせていただきました。舞台は目では見れませんが、皆さんの芝居とか、音楽を聴きながら、上手な朗読なので、想像の世界で舞台を見ているような感じに受け取りました。ありがとうございます。

石川県 鈴木美智子さんより

9月号 (あかりの会)

- ・須磨寺を訪ねて
- ・良寛様について
- ・兵庫県盲導犬協会
神戸総合訓練センターを訪ねて
- ・盲目のダンサー水越さんに聞く
- ・朗読「目を閉じて心開いて」



10月号 (こすもすG)

- ・映画「ブラインドサイト」を見て
- ・旅行記「オランダ旅行」
- ・暮らしの手帳：すてきなあなたより
「なんでもスープ」
- ・野の花だより 365日より「秋の麒麟草」
- ・おたよりコーナー、交流会お知らせ

11月号 (神戸YWCA)

- ・桂あやめさんインタビュー
- ・モーツアルトゆかりの地を訪ねて
- ・新聞切り抜き：「世にも便利な関西弁」
- ・花時計に関するお詫び
- ・交流会のお知らせ

12月号 (はあもにい)

- ・「わくわくどきどき
どんな人に会えるかな」
：ブラジル日系2世松原まりなさん
- ・「蒼氓」石川達三
- ・フランスからスペインへの巡礼の旅
- ・作詞家、阿久悠の歌に思いをよせて
- ・なまはげと聖ニコラウスにまつわる話
- ・お便りとお知らせ



赤十字兵庫県支部・赤十字青少年プログラム等活動協力

- 6/4 稲美町立加古小学校：点字講習指導
- 7/16 赤十字防災ボランティア実践研修
- 8/24 親と子のチャレンジ！赤十字探検隊、：点字とガイドヘルプ
- 9/8 「World First Aid Day」：キャンペーンイベント
- 10/13 赤十字防災ボランティア説明会（午前）・赤十字ボランティア基礎研修会（午後）
- 10/25 学校講習：点字&ガイドヘルプ 高砂市立米田西小学校（5年生）
- 10/31 兵庫県赤十字大会有功賞贈呈式
- 11/5 兵庫県献血功労感謝のつどい
- 11/5・11/6 学校講習：ガイドヘルプ&点字 高砂市立伊保小学校（5年生）（3年生）
- 11/8 学校講習：ガイドヘルプ 親和中学校（3年生）
- 11/15 学校講習：ガイドヘルプ 高砂市立曾根小学校（6年生）
- 11/22 学校講習：ガイドヘルプ 親和中学校
- 11/23 第17回交流会
- 11/29 学校講習：点字 高砂市立米田小学校（4年生）
- 12/1 から NHK 海外助け合いイベント
- 12/11 学校講習：点字 高砂市立高砂小学校（3年生）
- 1/17 震災メモリアルウォーク
- 1/21 学校講習：点字 高砂市立伊保小学校（6年生）
- 1/27 ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう！！」

* 「こどもたちへのメッセージ集」点字とテープ録音協力

昨年につづき今年度も「点字とガイドヘルプの学校講習」をお願いしたいとの依頼が、声の図書奉仕団にたくさん寄せられました。

赤十字青少年プログラムに協力し、お役にたてるのであれば可能な限り対応するというスタンスで、点字班のメンバーやガイドヘルプに対応してくださる団員の方々、支部の方々の協力を得て学校講習が実施されています。

6月と10月に1校ずつ、11月には6回、高砂市の小学校や灘区の親和中学校へ行きました。小学校では点字の特徴を学んでもらい、授業の終わりには自分の名前を正しく書けるように授業を進めています。はじめて自分で点筆を使って打ち出した点字をみると、とても感動する様子で、名前だけでなく他の言葉も書いてみたいという子もいて予想外の質問も飛びだします。ガイドヘルプではアイマスクをしてガイド役の友達と歩く体験をすると、見えないと少しの段差もこわいというのがよくわかり、一生懸命に歩く子や、「こわい～」とキャーキャー言いながらこわごわ歩いたりする子もいます。

視覚障害者の岡田さん、折野さん、薮さんもこれらの活動をご理解くださり、いくつかの学校へ一緒に出向いて体験を話すなど気持ちよくご協力くださっていて、子供達にとっても実際に障害をお持ちの方の話を聞いてふれあう良い機会となり、学校の方にも喜んでいただいています。

私たちも子供たちと一緒に学ぶことでいろいろ気づかされたりしています。子供たちが障害者の方と接することがあるときに、授業で学んだことを思い出してくれたり、やさしい気持ちをもって接してくれることにつながるなら、とても素晴らしいと思います。

今後も依頼に応じて出向く機会があると思いますが、団員の方々のより一層のご協力をお願いします。

本村和代

第17回交流会会計報告		2007年11月23日	
収 入		支 出	
日赤交流会助成金	295,000	弁当 850×206	175,100
会費 @500×98		茶 1930×10 (税966)	20,266
リスナー62名 同行者36名	49,400	菓子 340×205	69,700
@200×2名		みかん 4000×5	20,000
リスナー1名 同行者1名		チャーターバス 2台	40,000
寄付(松森博通様)	2,000	10,000×4(2台往復)	
残り弁当他販売	7,100	イベント出演者謝礼	10,000
		交 通 費	5,000
小 計	353,500	現在残高	13,414



神戸赤十字病院「朗読会」

朗読会も病院の方々から好評を得ています。担当はあかりの会青野義夫さんと難波悦子さんです。7月から12月まで、病院で行われた朗読会の内容と来年1月から5月までの各グループ予定表です

朗読場所 神戸赤十字病院（4階～6階）デイ・ルーム

朗読場所は毎月変わります、その都度連絡いたします

日 時 : 毎月第3火曜日 午後3時～3時30分

月 日	フロアー	グループ名	朗 読 図 書
7月17日	6F	あかりの会	「ういろう売り」
		あけぼの	PHPより「小さなサムライたち」「いのちのさんが」
8月21日	4F	神戸YWCA	奇妙におかしい話より「思い込みのあの夜」 ストーリーテリング「世界でいちばんきれいな声」
		ことばの花束	「心に種まき」「バナナの気配り」
9月18日	5F	こすもす	「笑い話コレクション」 「しあわせはいつもいま」より「うそつきのつき」
10月16日	6F	青年	民話「三枚のお札」 産経新聞 夕焼けエッセーより「憧れ」「ステッキ」 「ないものあります」より「店主のあいさつ」「左うちわ」
11月20日	5F	はあもにい	「ごはん」「葉っぱのフレディ」「歌のはなし」
12月18日	4F	あかりの会	「あめ玉」「はとの立ち聞き」 大型絵本「せんたくかあちゃん」 「1年1組先生あのね」より詩5編

2008年1月から5月 赤十字病院朗読会予定表

月 日	グループ名
1月15日	神戸YWCA
2月19日	こすもす
3月18日	そよかぜ
4月15日	ともしび
5月20日	ことばの花束

